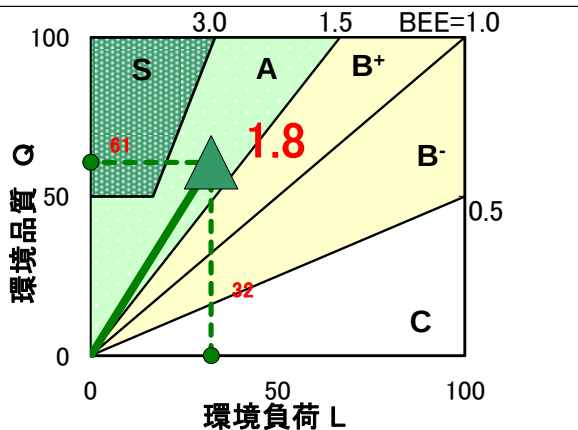
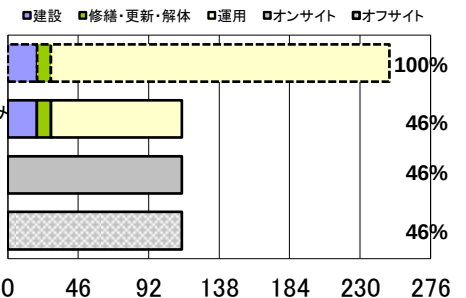
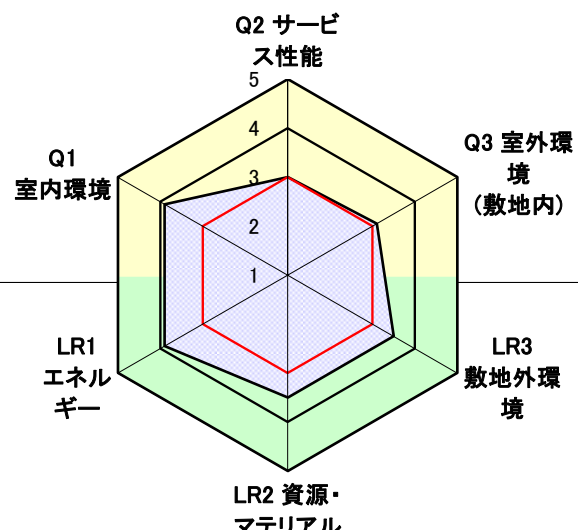
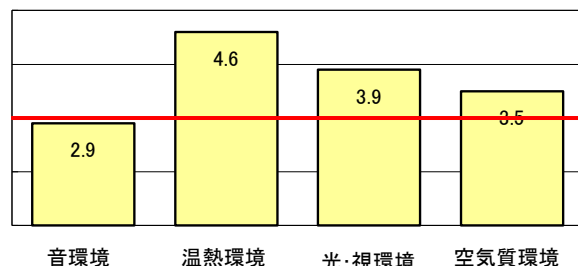
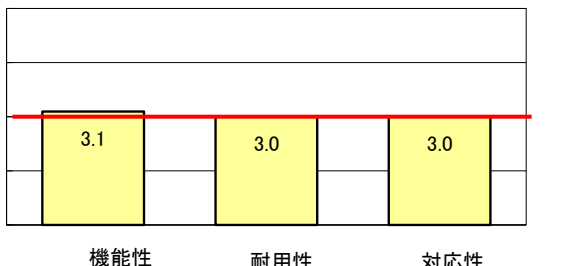
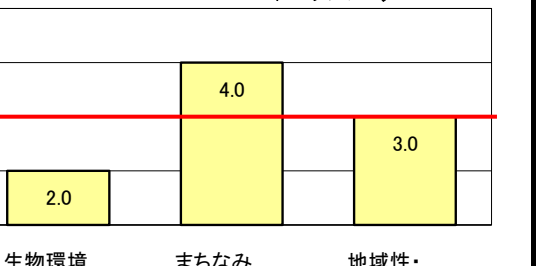
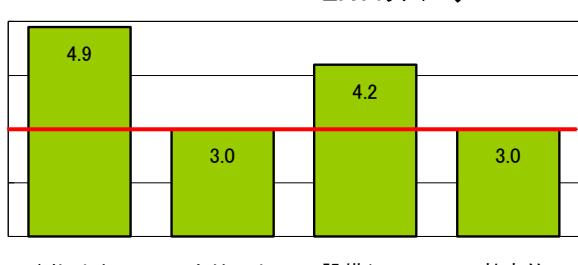
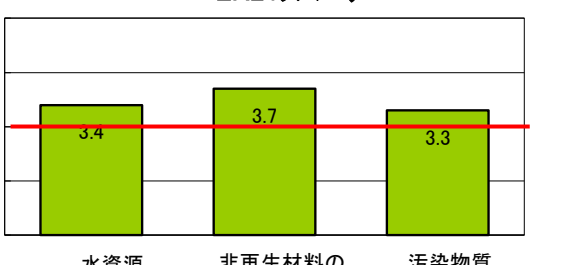
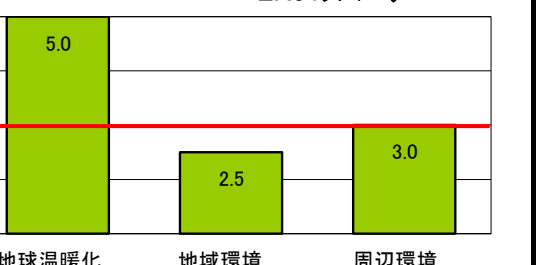


CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	(仮称)折尾計画 新築工事	階数	地上19F		
建設地	福岡県北九州市八幡西区折尾4丁目1378-4	構造	RC造		
用途地域	商業地域、第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	464 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	事務所,物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2016年8月20日		
敷地面積	4,900 m ²	作成者	ブラックステューディオ前畑		
建築面積	3,078 m ²	確認日			
延床面積	16,246 m ²	確認者			
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)			2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		
BEE =1.8 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 			 30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆ 標準計算  (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです		
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)					
					
2-4 中項目の評価(バーチャート)					
Q 環境品質					
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)	
Q1のスコア= 3.9 		Q2のスコア= 3.0 		Q3のスコア= 3.1 	
LR 環境負荷低減性					
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境	
LR1のスコア= 3.9 		LR2のスコア= 3.5 		LR3のスコア=3.5 	
3 設計上の配慮事項					
総合			その他		
全116戸の共同住宅において、周辺の街並みに配慮した環境形成と、子育て世代の居住に対応した防犯、住戸計画を行った。			歴史的な建築空間を再生し、地域文化への貢献また、庇、ピロティ、歩道状空地などのスペースを確保し、地域活動上のアメニティ向上に貢献している。		
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)	
内装の仕上げ材にF☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に使用。		住戸の天井高さを2.5m以上確保、又階高を2.96m以上とする。		地域に開いたテナント部は、折尾の歴史遺産である「ねじりまんぼ」や、JR折尾駅地下道の煉瓦トンネルをモチーフとし歴史性の継承、また周辺の街並みや風景に調和させている。	
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境	
断熱等性能等級における等級4相当。		節水型便器の採用、又構造材、非構造材の一部にリサイクル材を使用。		高効率給湯器 (エコジョーズ) の採用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される